

米国高等教育情報および学術情報

GAO、STEM 教育プログラムと労働力との関連性に関する報告書を公開 (6月9日)

政府説明責任局 (Government Accountability Office : GAO) が 5 月 8 日に発表した STEM 教育に関する報告書「科学・技術・工学・数学教育 ～教育と労働力との関係性を評価～ (Science, Technology, Engineering, and Mathematics Education : Assessing the Relationship between Education and the Workforce)」が 6 月 8 日に一般公開された。GAO は、学生の STEM 分野就職準備を支援する STEM 教育プログラムの STEM 分野の労働力需要に対する貢献度を検証することを目的として、本報告書を作成した。GAO は報告書の中で、2002 年以降の STEM 学位と職業の傾向の分析、及び、連邦 STEM 教育プログラム 158 件を対象とした調査の結果、以下のようなファインディングを明らかにしているが、具体的な提案事項は提示していない。

- STEM 分野の学位取得者数は、2002-2003 学年度の 135 万人から 2011-2012 学年度には 200 万人超と約 55% 増加しているのに対し、同期間での非 STEM 分野の学位取得者数増加率は 37%
- STEM 分野の雇用機会数は、2004 年の 1,420 万件から 2012 年には 1,650 万件と 16% 増加しているのに対し、同期間での非 STEM 分野の雇用機会数は変化なし
- ほぼ全ての大学 STEM 教育プログラムが労働力の必要性を考慮する一方、一部のプログラムは、学生の STEM 分野における就職とプログラムの直接的関係性を評価する資料なし
- ほぼ全ての小・中・高等学校 STEM 教育プログラムにおいて、直接・間接的に大学での STEM 教育に向けての準備を導入

なお、本報告書は、<<http://www.gao.gov/assets/670/663079.pdf>>からダウンロード可能。

US Government Accountability Office, Science, Technology, Engineering, and Mathematics Education: Assessing the Relationship between Education and the Workforce
<http://www.gao.gov/products/GAO-14-374>